

八重山広域市町村圏事務組合設立20周年記念
人材育成事業黒潮塾

書に親しむ 〓南龍先生とともに〓

『書は夢の扉をひらく』

(講演要旨) 上

◇平成24年1月24日 火午後6時

◇与那国町保健センター

私は、与那国島に
は今回で3回目の
来島です。戦争の
とき、まだ小学
校を出てないころ
でしたが、台湾に
疎開していました。
戦争が終わって、
台湾からカツオ船
のような船で引き
揚げて来ました。
与那国島の沖の辺
りか、定かではあ
りませんが、遭難
しかけ、与那国島
で一夜を過ごして、
石垣に向ったとい
う思い出があるの
です。だから、与
那国島とうところが、
私が、まさに
九死に一生を得た
ところと言っても
過言でないような、
幼いころの思い出
が残っています。
さて、私が小学5
年生の時の担任の
先生との出会いに

から「自分の家に
つかいに行つてく
れないか」と、言
われました。その
言葉は、今も忘れ
ることができませ
んの、とてもうれ
しかったです。
さあ、いまの子ど
もたちは、どうで
しょうか。使われ
たら喜ぶでしょう
か。また、先生方
は、うんと使つて

ださったのです。
とてもうれしかっ
たですね。石垣
小学校には大
きなガジユマルの
木が中庭にありま
した。学校の瓦ぶ
きの校舎と、ガジ
ユマルの生い茂った
緑の風景を描こう
ということになり
ました。先生にい
ただいた水彩絵の
具と筆を使つて一

す。どうぞ、心の
底から子どもたち
をいたわって下さ
い。使つてくださ
い。心があれば子
どもたちはきっと
それに応えてくれ
ると思います。同
時にその行為とい
うものは後々にな
って開花するとい
うことです。そう
いう思いから講演

のテーマに考えた
す。どうぞ、心の
底から子どもたち
をいたわって下さ
い。使つてくださ
い。心があれば子
どもたちはきっと
それに応えてくれ
ると思います。同
時にその行為とい
うものは後々にな
って開花するとい
うことです。そう
いう思いから講演

か」「その期待を
全部背負って、自
分が言ったことを
果たすことが君に
与えられた天声・
天命なんだ」と、
言われているよう
な気がしてならな
いのです。今も続
いています。今日、
外間町長さんに差
し上げた言葉があ
ります。これは、
書を始めて3年か

が去年、やっと作
品として仕上げた
のです。この言葉
は、町長のかじ取
り。将来与那国
町がどれほど発展
して行くか。私が、
この言葉を書いた
ころとちやうど似
ているような思い
がしてならなかつ
たのです。私は、
今年こそ2度目の
日展で特選を取っ
て、自分の夢を果
たしてみたい。そ
んな思いに駆られ
ております。



出会いで人生変わる

座右の銘「忍耐は運命に勝つ」

みたいと思うでし
ようか。そんなこ
とを思っています。「
電話を入れてある
ので、先生の自転
車で家に行つて水
彩絵の具と筆を持
つてきてくれ」と
いう使いでした。
喜んで行きました。
そして、水彩絵の
具と筆を先生に届
けたら「君にやる
」と言って僕にく

生懸命に描きまし
た。当時の八重山
群島政府が行った
八重山復興博覧
会に出品しまし
た。そうしたら入
賞したのです。そ
の入賞が、自分の
一生を大きく変
えるきっかけにな
ったということだ
す。ここに生徒も、
先生もいらつしや
るだろうと思いま

のがこの言葉でし
た。夢の扉は自分
が開けるのだが、
誰が夢を与えてく
ださったか。誰が、
こんなことをして
くださったか。気
づかされた、あの
出会いが、今につ
ながっています。
絵描きにはなりま
せんでしたが、ま
さにあの出会いが、
私が字を書く道

おのずからこの仕
事を選んでやりた
いと思つたというこ
とです。挫折しそ
うなことも沢山
ありましたが、
自分に言い聞かせ
ました。「お前は
こういうことをし
たいという思いで
消防署を辞めたん
じゃないのか」「
多くの期待を裏切
ったんじゃないの

5年ぐらいたった
時に、課題の中に
「忍耐は運命に勝
つ」という言葉が
あったのです。そ
の課題を繰り返し
書いているうちに
いつしか、いつの
間にか私の座右の
銘になってしま
いました。この言葉
は一度も作品とし
て作り上げたこと
はなかったのです



「忍耐は運命に勝つ」
外間町長に作品の贈呈
(町長室)